好きこそものの上手なれ

第14話

# 回胴倒錯者

—PACHISLO FREAK—

## 親父

某店亡き後、N君と私はC店が活動の場となっていた。もちろんこの店にも玉ポンDXが設置されており、他にはニューパルサー！ルパン三世・大花火など、人気を博した機種がずらりと並んでいた。10月にも入ると稼動も下がってきており、C店のスロットコーナーは稼動3割前後といったところであった。今も昔も変わらず私の最も好みとする稼動率である。稼動の高い店は実際に良く出ているが、空台には出る台が残っているとも思えないし、やたらとやかましくてゆっくりと楽しめない。この稼動3割前後のアットホームさと、台が自由に選べる開放感が私にはしっくりきたのである。そしてこの店もまた設定変更後の処理とかは皆無で、変更・据え置きが丸分かりだった。

その日も開店時間の2、3分前に並びだす。それでも10番目以内には必ず入っていた。さらに開店と同時に玉ポンDXに行くのは私とN君くらいで、他の人はパチンコか大花火といったところだった。この日はN君と来たわけではなく、親父と来ていた。40年も前からパチンコをし続けてきた親父、昔は玉を手で1発ずつ押し込み、パチンパチンと弾いて楽しむものだったと聞いたことがある。パチンコの進化の過程を見続けてきた親父であったが、スロットは打ったことが無かった。そして本日デビューさせるために私が連れてきたのである。

よさそうな台を2台並んで私が選ぶ。メダルを入れて、レバーを叩いて、ボタンを押す。とりあえずそれだけ教えて実際に遊技してみる。すると質問攻めがやってくる。どうなったら大当たりなのか、いくら使えばいいのか、どれくらい出るのか、勝てるのか…。

玉緒でポン1DX（サミー）
兄弟機の「玉緒でポン」とは似ても似つかない技術介入要素は、多くの初代ファンを苦しめた。

誰でも最初はそんな感じで聞いてくる。そして私が答えたのは次の通りだった。

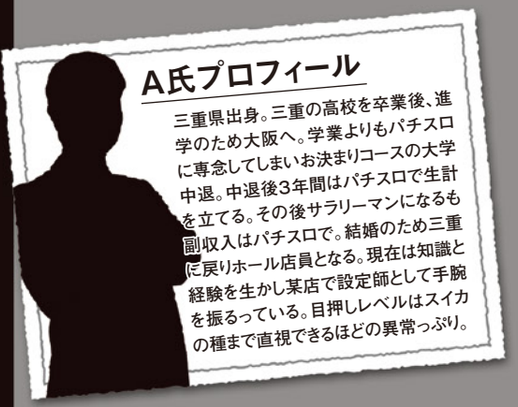
1、ボーナスとかリプレイとかハズレとかは、レバーを叩いた時に抽選されている。なので、レバーで当選していない限りは狙っても揃わない。

2、ボーナスは一度当選すると揃えるまでなくならない。

3、4コマまでは引き込んでくれるので、多少早めに押しても揃ってくれる。

仕事柄なのか、そういうことへの理解は早く、すぐに納得してくれた。もちろん目押しはままならないので、ボーナス中は私が打つようにしていた。この日は2人して勝利し、親父は40年間打ち続けてきたパチンコを捨て、今でもスロットにどっぷりはまり込んでいる。

そんな親父がようやく7の目押しできるようになって来た頃、再び一緒に玉ポンDXを打っていた。ハズシだけは私がしており、2人とも出玉は快調に増えていく。そんな折、親父の隣に座っていたBIGボーナス中のおっちゃんが私に話しかけてくる。「ちょうと、にいちゃん、なかなかリプレイが揃わんのや。パンクしてしまうからリプレイ揃えてくれへんか？」ハズシを頼まれるのだろうと思っていたため、かなりビックリしたというか、呆れて苦笑いしてしまったのが記憶にあるが、もちろんリプレイを狙うことなど不可能なので「ごめん、おっちゃん、リプレイをハズすことはできるけど、揃えることはできへんわ…」そう答えておいた。ちょっと嫌な顔をされたがなんともならないのは事実である。実際この人に似た感じの人は意外と多かった。なかでも「リプレイはどこを押せばハズせますか？」という質問は幾度となく聞かされてきた。リプレイハズシというものは言い換えればリプレイの取りこぼし。ここを押せばスイカを取りこぼしてしまうというのは分かっていても、ここを押せばリプレイを取りこぼすというのが分からない。リールは4コマまでしかスベらないのを考慮すればそれは自然と分かってくる。リプレイとリプレイが5コマ以上離れていれば4コマスベっても届かず、結果的にリプレイをハズす（取りこぼす）ことができるのである。リプレイハズシを行う際に左リールを最後に押すのもそのためで、通常時にリプレイを取りこぼさないように中・右リールは5コマ以上離れているリプレイは無いからである。ではなぜ左リールで外せるのに通常時には外してしまわないかと言うと、最初に押すリールなので枠内のどこかにリプレイが出現すれば取りこぼしは防げるからである（リプレイが6コマ離れていて、枠下にリプレイをビタ押ししても4コマスベって上段にリプレイは出現する）。これはリプレイの揃うラインが限定されていないから取りこぼしが無いとも言える。即ち、ハズシをしたい場合は中・右リールでリプレイのテンパイラインを限定させて左リールでそのテンパイラインの1つ下に5コマ以上離れているリプレイを押せば、4コマスベっても届かずハズシ成功となるのである。これが最も基本的な考え方で、どの機種にも通用する。その他にはチェリー制御や、特殊制御でのハズシがあるが、その説明は又の機会に。攻略雑誌にはすごく丁寧にハズシの方法が書いてあり、皆がそれを丸暗記してしまうから知らない機種での応用が利かない人が多いのだろう。攻略雑誌の方々もこういうことも丁寧に説明してもらいたいものである。その点、親父はこういった事への理解に明るく、見ず知らずの全く新しい機種においても、小冊子にてリール配列さえ確認すれば自分なりにハズシ方法を開発していた。そしてそれが難しくて自分には無理だろうと思えば、その機種は一切打たず、私が近くにいるときだけそういう機種を打つようにしていたのだった。おかげでもっぱらニューパルサー三昧



### A氏プロフィール

三重県出身。三重の高校を卒業後、進学のため大阪へ。学業よりもパチスロに専念してしまいお決まりコースの大学中退。中退後3年間はパチスロで生計を立てる。その後サラリーマンになるも副収入はパチスロで。結婚のため三重に戻りホール店員となる。現在は知識と経験を生かし某店で設定師として手腕を振るっている。目押しレベルはスイカの種まで直視できるほどの異常っぷり。

## 指南役

玉ポンDXにていまいち調子が出ないときは、「ルパン三世（平和・オリンピア）」をよく打っていた。その後「不二子2」、「主役は銭形」と継承された隠れた名機である。私はこの3作品の中でも一番好きだった。甘いボーナス確率や、シンプルな演出、リール制御、そしてBIG中の難易度の高い攻略要素、どれをとっても1番である。さらに設定変更後も非常に分かり易い。設定変更を行うと必ず1枚がけ時のベットランプが点灯する。これが意外と分かりにくく、知っている人も少なかった。

ルパン三世（平和・オリンピア）
7の揃い方によって異なる難易度のリプレイハズシが話題を呼んだマシン。上部のルパン人形はもちろん動く。

その日は玉ポンにめぼしい台が無いため、朝からルパンを打っていた。昨日、BIGもREGもよく当たっていた台の据置である（設定456ではBIG確率は同じだが、REG確率がぜんぜん違う）。5千枚近いメダルが頭上に並べられた夕方ごろその人は現れた。丸顔に黒の丸いサングラス、見た目から察して、「恐い系」か「お茶目系」のどちらかであろう。夕方で空台も少なかったからか、私の隣に着席し遊技が開始された。なかなか見事な目押し力に加え、楽しむポイントも理解した打ち方、相当ルパンを打ち込んでいる印象があった。しかしBIG中のビタ押しハズシだけは失敗する。失敗するたびにうなだれたり天を仰いだりしていた。その派手なリアクションから、この人はお茶目系なんだという事が確定した。そして私のハズシを何度も見ているうちに「すごいなぁ…」そう話しかけてきた。「どこ見て押してるの？」「上段にこのプラムを…」この会話がはじめての会話であったが、それから話は弾みスロットの話題で盛り上がった。このときあまりのスロットへの情熱ぶりとルパンへの愛情ぶり、そしてなにより勝ちへのこだわりが私の口を軽くさせた。設定変更後の状態や、判別方法、いろんな小技、その他もろもろのスロット知識を伝授したのである。この日からたびたびこのおっちゃんに会うことがあったが、その度に技術や知識はどんどん向上していた。5号機が世間に広まりだした頃から姿を見ることが少なくなり、いまでは全く見なくなってしまったのだが、それでもあのスロットへの愛情が消えたとは考えにくく、虎視眈々と新たな機種、新たな時代を待っている、そう思えてならないのである。

◇次回予告◇

今度は店員さんからも質問攻めにあう！その理由とその一風変わった質問内容は？次回「攻略法？」乞ご期待！

### □幸福の金色コイン？□

まだ私がコンドルを打っていた頃のかなり昔の話です。

ある日ある店でBIGを消化していると1枚だけ変わったメダルが出てきました。大きく「S」マークが浮き彫りにされた金色のメダルです。当時は金色のメダルは珍しく、記念にこっそりポケットに忍ばせておきました。その日は大負けで諦めかけて帰ろうとしたとき、最後の3枚で上段に青い7がテンパイ！そのまま7を狙うが揃うことは無く、REG確定でした。しかし揃えるためのメダルは残っていません。周りを見渡してもこんなときに限って1枚も落ちていません。仕方なくポケットに忍ばせておいた金色コインをしぶしぶ投入してREGを揃えました。そして異変が起こりました。さっきまで出る気が無かった台のくせに、そのREGからボーナス連打！大負けした分以上のメダルを吐き出し、いっきにプラス領域へ！このときは別にこの金色コインがどうとか思っておらず、やっぱり台選びは間違っていなかったと考え、金色コインのことなど忘れてしまっていました。そしてボーナス連打も止まり、そろそろ帰ろうと下皿のメダルを箱に移していると、そこにはあの金色コインが紛れ込んでいました。

（あぁ、そうか、このメダルが無ければ…）

私はそのメダルを再びポケットに忍ばせ、家路に付いたのでした。

そのメダルはその後も活躍を続け、スロットを打つときには必ず持ち歩き、時には台に投入し、そしてそれが出てくるまで打ち続けました。5年近くも無くなることなく、必ず戻ってきました。それをS君に譲ってからそのメダルの行方は分かりませんが、今でも誰かのポケットにあるような、そんな気がします。